

昭和三十年四月十五日印刷  
昭和三十年四月十三日發行  
第三種郵便物認可  
(毎月二十日發行)

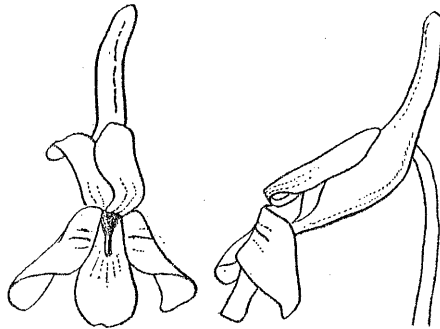
第 30 卷 第 4 号

Vol. 30 No. 4

# 植物研究雜誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和 30 年 4 月 APRIL 1955



津村研究所

Tsumura Laboratory

TOKYO

## 目 次

長谷川 昇: ゼンマイ属3種の有性世代について .....	(97)
幾瀬 マサ: 日本産植物の花粉粒総説 (3) (キンボウゲ目) .....	(102)
佐竹 義輔・小山 鉄夫: イヌノヒゲ属の1新種 .....	(114)
日出 武敏: 赤井谷地のチリモ植物相 (3) .....	(117)

### 雑 録

檜山庫三: カワラマツバの一品シナノカワラマツバ (101)——久内清孝:  
ヒルガオ科の外来品 (113)——津山 尚: ペニバナボロギク(新和名) (123)  
——大井次三郎・小山鉄夫: タイトウクグとヒメクグ (126)——久内清孝:  
アブラナ科の外来種 (127); Wood Rose とは何か (128).

正 誤 (113)

## Contents

Noboru HASEGAWA: On the sexual germination of three species of <i>Osmunda</i> in Japan .....	(97)
Masa IKUSE: General survey list of pollen grains in Japan. (3) (Ranales)...	(102)
Yoshisuke SATAKE & Tetuo KOYAMA: Une nouvelle espèce de l' <i>Eriocaulon</i> pour la flore du Japon .....	(114)
Takehiko HINODE: The desmid-flora of Akai-Yachi (3) .....	(117)

### Miscellaneous

Kōzō HIYAMA: A new form of *Galium verum* L. (101)——Kiyotaka HISA-  
UCHI: *Ipomoea lacunosa*, a new alien (113)——Takasi TUYAMA: An  
adventive of Composite family, *Erechtites missionum* Malme (123)——  
Jisaburo OHWI & Tetsuo KOYAMA: *Cyperus Kernianus* and *C. brevifolius*  
(126)——Kiyotaka HISAUCHI: Two casuals of the Cruciferous weeds  
(127); What is Wood Rose? (128)

Errata (113)

〔表紙カットの説明〕 ナガハシスミレの花, このスミレは東北地方から北陸地方へか  
けて日本海斜面の山地に多い。いわゆる日本海要素であるが, その対応的な模種は北米  
東部に見出される。距が長いのでナガハシ(長嘴)といい, 高く突き立つからテング  
(天狗)スミレともいう。不思議と日本の図鑑類に画がでていないのでここに採用した。  
(前川)

Flowers of *Viola rostrata* Pursh var. *japonica* (Beck. et Boiss.) Ohwi. (F. Maekawa).

植 研

Journ. Jap. Bot.

## 代 金 払 込

代金切れの方は一ケ年代金（雑誌 12 回分）768 円（但し送料を含む概算）を  
為替又は振替で東京都目黒区上目黒 8 の 500 津村研究所（振替東京 1680）宛  
御送り下さい。都合で 2 回分割払いでも差支えありません。

## 投 稿 規 定

1. 論文は簡潔に書くこと。
2. 論文の脚註には著者の勤務先及びその英訳を附記すること。
3. 本論文、雑録共に著者名にはローマ字綴り、題名には英訳を付けること。
4. 和文原稿は平かな交り、植物和名は片かなを用い、成る可く 400 字詰原稿用紙に横書きのこと。欧文原稿は“一行あきに”タイプライトすること。
5. 和文論文には簡単な欧文摘要を付けること。
6. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼込むこと。原図の説明は 2 部作製し 1 部は容易に剝がし得るよう貼布しておくこと。原図は刷上りで頁幅又は横に 10 字分以上のあきが必要である。なお原図の裏に著者名、論文名を記入のこと。
7. 登載順序、体裁は編集部にお任せのこと。活字指定も編集部でしますから特に御希望の個所があれば鉛筆で記入のこと。
8. 本論文に限り別刷 50 部を進呈。それ以上は実費を著者で負担のこと。
  - a. 希望別刷部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けません。
  - b. 雑録論文の別刷は 1 頁以上のもので実費著者負担の場合に限り作成します。
  - c. 著者の負担する別刷代金は印刷所から直接請求しますから折返し印刷所へ御送金下さい。着金後別刷を郵送します。
9. 送稿及び編集関係の通信は東京都文京区本富士町東京大学医学部薬学科生薬学教室植物分類生薬資源研究会、藤田路一宛のこと。

## 編 集 員

### Members of Editorial Board

朝比奈泰彦 (Y. ASAHINA)

編集員代表 (Editor in chief)

藤 田 路 一 (M. FUJITA)	原 寛 (H. HARA)
久 内 清 孝 (K. HISAUCHI)	木 村 陽 二 郎 (Y. KIMURA)
小 林 義 雄 (Y. KOBAYASI)	前 川 文 夫 (F. MAEKAWA)
佐々木 一 郎 (I. SASAKI)	津 山 尙 (T. TUYAMA)

All communications to be addressed to the Editor  
Dr. Yasuhiko Asahina, Prof. Emeritus, M. J. A.  
Pharmaceutical Institute, Faculty of Medicine, University of Tokyo,  
Hongo, Tokyo, Japan.

昭和三十年四月十五日印刷  
昭和三十年四月十三日  
第三種郵便物認可  
(毎月二十日発行)

「植物研究雑誌」第三十卷 第四号

定価六〇円

# 謹 告

かねて予告しました本誌索引(第11巻～第25巻)は遅れて御迷惑を  
かけましたが第30巻臨時増刊(昭和30年4月5日発行)として出版に  
なりました。これは上記の15巻分の学名と和名の詳しい索引で、本誌の  
整理や利用上に大変役立つと存じます。

## 植物研究雑誌索引(第11巻～第25巻)

Index of the Journal of Japanese Botany

vol.11 (1935) — 25 (1950)

総頁 375 頁 定価 600 円 送料 20 円

申 込 先 津 村 研 究 所

東京都目黒区上目黒 8 の 500

振 替 東 京 1 6 8 0

昭和30年4月15日印刷

昭和30年4月20日発行

編輯兼発行者 佐々木 一 郎

印 刷 者 小 山 恵 市  
東京都新宿区筑土八幡町 8

印 刷 所 千代田出版印刷社  
東京都新宿区筑土八幡町 8

発 行 所 植物分類・生薬資源研究会  
東京都文京区本富士町  
東京大学医学部薬学科生薬学教室

津 村 研 究 所  
東京都目黒区上目黒 8 の 500  
(振替 東京 1680)

定 価 60 円

不 許 複 製